



株式会社 大平 代表取締役

副島 広幸 氏

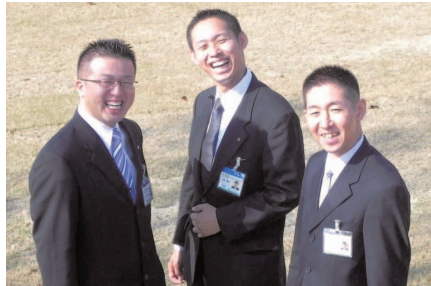
専門分野に特化して地域に密着 利用者と心通わせる人材確保・教育に力注ぐ

今年3月で創業37年を迎える大平。調剤薬局、福祉用具レンタルなど医療関連事業を展開して地域の医療と福祉を支えてきた。

日本の65歳以上高齢者人口は2050年あたりまで上昇し、高齢化率

は40%を占め、75歳以上の高齢者数が占める割合が大幅に増える見込みだ。自宅より病院で過ごす人が多く現代では、病院の受け入れには限界がある。在宅医療に移行させるを得ない状況で、福祉用具レンタル専門に特化する大平の役割

は大きい。「高齢者が増える一方で人口減少は始まっている。75歳以上は2050年以降、ほとんど増えない。2025年〜2030年までがビジネスとしては勝負になるだろう」と将来を見据える副島社長。昨年11月、福岡県



大切なのは、心を通じあわせること。お客さまと、患者さまと、そして社員どうしでも。

久留米市に続き、福岡市内に県外2つめの営業所を開店。新たな市場に乗り出した。

「選んでもらうためにはスピーディーで質の高いサービスを提供し続けなくてはいけない。行動の遅れが即、利用者の不便につながる」。それに対応するため副島社長は今年も実践行動力・信頼構築力・堅実指向・ホスピティフ思考のある人材の確保に努め、利用者との心を通わせることができる人材を育てていく。福岡でも

スタッフを増やす予定だ。

7年前、地元・小城市に開設したワンストップで内科など5つの医院を受診できる「スディカルモール」が評判だ。敷地内の調剤薬局にも多くの患者が訪れ、地域の安心・便りさを提供する拠点に育っている。「専門分野に特化し、他の機関とも連携しつつ、地域に密着していく」と抱負を語る副島社長。今年も利用者の満足につながるサービスを提供していく。

 TAIHEI 株式会社 大平

小城市牛津町牛津151番地24
TEL (0952) 66-0206 FAX (0952) 66-0359
<http://www.taihei-group.jp>